

# 平成29年度 近肢連 研修報告書

## 看護 部会

(幹事園)

北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園

高槻市立療育園

明石市立ゆりかご園

日時	平成 29 年 6 月 17 日 (土) 午前10時 ~ 午前12時			
開催場所	明石市生涯学習センター 学習室704(7階)			
テーマ	「今、周産期で・・・施設とつながるまでの親と子支援」			
講師	加古川中央市民病院 臨床心理士 岡田 由美子 先生			
参加人数	48	名	内訳	看護師・保健師・保育士・臨床心理士・PT・OT・ST
まとめ	<p>(内容)</p> <p>I、周産期とは</p> <p>II、周産期の心理臨床</p> <p>III、周産期から乳児期への展開</p> <p>○ 周産期からの臨床心理士の介入やNICUでの他職種との連携があることや、親の葛藤など色々なプロセスを経て施設につながってきているということを理解することができた。</p> <p>○ 「生命」(自分自身とは切り離して、外側から客観的・科学的・分析的にみることができる命)の視点と「いのち」(自分との関わり、自分とのつながりの中で見えてくるいのち)の視点が大切であることや、「こころ」に対する視点の大切さを改めて感じ、日々の療育の場でも意識して、各職員にも引き継いでいきたい。</p> <p>○ 施設につながるまでのプロセスに配慮し、母子に寄り添いながら、看護していけるように努めていきたい。</p>			